

Borland®

Silk Performer 16.0

リリースノート

**Borland Software Corporation
700 King Farm Blvd, Suite 400
Rockville, MD 20850**

Copyright © Micro Focus 2015. All rights reserved. Silk Performer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2015 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2015-02-17

目次

Silk Performer 16.0 リリース ノート	4
システム要件	5
インストール	6
Silk Performer16.0 の新機能	7
CloudBurst の強化	7
Performance Explorer の強化	7
監視機能の強化	8
Web プロトコル レベルプロジェクトのネットワーク エミュレーション	8
Web プロトコル レベル機能の強化	8
その他のテクノロジードメインでの改善	9
ユーザビリティ機能の強化	10
Silk Performer の既知の問題	11
Silk Performer に関する一般的な問題	11
TrueLog Explorer の問題	11
SAPGUI の問題	12
Citrix に関する問題	13
Oracle Forms の問題	13
Web の問題	14
解決済みの問題	15
更新と SupportLine	20
Micro Focus へのお問い合わせ	20
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	20
Silk Performer のライセンス管理	21
テスト済みソフトウェア	23
サポートの終了	26

Silk Performer 16.0 リリースノート

これらのリリースノートでは、ヘルプには表示されない場合もある情報について説明します。製品をインストールする前に、これらのリリースノート全体をお読みください。



注: このドキュメントには、外部の Web サイトへのリンクが多く記載されています。Micro Focus は、これらの Web サイトのコンテンツまたはそのサイトがリンクするいかなるサイトのコンテンツについて、責任を負うものではありません。当社では、リンクを常に最新状態に維持することを試みっていますが、Web サイトはその性質上、急に変更されることがあります。このため、当社は、Web サイトの予期したとおりの動作を常に保証するものではありません。

システム要件

以下の表は、Silk Performer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。Silk Performer のパフォーマンスとスケーラビリティの詳細については、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

Silk Performer のエージェント ソフトウェア、もしくはコントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために Silk Performer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最小要件を満たしている必要があります。自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	1 GB 推奨 (最小)
ハード ディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 1 GB。エージェントのみをインストールする場合に 450 MB。 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	テスト対象システム、および、すべての Silk Performer エージェント コンピュータとのネットワーク接続。

オペレーティング システムの要件

- Silk Performer Controller のインストールには Windows Vista 以降が必要です。
- Silk Performer Agent のインストールには、Windows 2003 以降が必要です。待機時間 と パケット損失率 (ネットワーク エミュレーションの設定で使用) は、Windows 2003 および Windows 2003 R2 ではサポートされません。
- Windows XP はサポートされません。

ソフトウェア要件

Silk Performer をインストールして実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、Silk Performer Java Explorer を実行するには、システムに 32 ビット版の Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 のいずれかがインストールされていなければなりません。それぞれの Web サイトからコンポーネントをダウンロードしてください。

- ブラウザ駆動型負荷テスト用の Internet Explorer 7、8、9、10、11
- ドキュメント参照用の PDF ビューア
- Citrix XenApp Client 12.x または Citrix Receiver (Microsoft Windows 3.x、4.x 用) (Citrix アプリケーションのテスト用)
- 32 ビット Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 (Java Explorer を使用した Java アプリケーションのテスト用)

インストール

インストール、デプロイメント、ライセンス管理に関する情報については、『[Silk Performer インストールヘルプ](#)』を参照してください。

Silk Performer16.0 の新機能

Silk Performer16.0 では、大幅な機能強化と変更が行われました。

CloudBurst の強化

CloudBurst ERP のサポート

Silk Performer CloudBurst が組み込みの CloudBurst VPN 経由で SAPGUI、OracleForms、Citrix の負荷テストの実行をサポートするようになりました。

Cloud Agent Manager の詳細のコピー

Cloud Agent Manager で、クラウド エージェントや IP アドレスの詳細をクリップボードにコピーし、テキスト エディタや表計算ソフトにコピーできるようになりました。エージェントまたは IP アドレスの行を選択して、選択項目を右クリックして **詳細のコピー** をクリックします。または、キーボード ショートカットの **Ctrl+C** を使用できます。Microsoft Excel に詳細を貼り付けると、データは自動的に表形式で表示されます。

Cloud Agent Manager のエージェントからの結果のダウンロード

Cloud Agent Manager で、失敗した負荷テストの結果をエージェントからダウンロードできるようになりました。エージェントを右クリックして **結果の取得** をクリックすると、すべての結果を一覧表示するダイアログが開きます。ターゲット フォルダを指定して、ローカル マシンに結果をダウンロードします。

Performance Explorer の強化

Performance Explorer でのリボン コンポーネントの採用

Performance Explorer 16.0 では、リボン コンポーネントを使用したメイン ユーザー インターフェイスに、完全にデザインが一新されました。リボンとは、Performance Explorer の上部にある矩形領域で、いくつかの固定タブとコンテキスト タブから構成されます。詳細は、「UI のツアー」を参照してください。

負荷テストと TSD ファイルのリサンプル

単一の .tsd ファイルと負荷テスト (つまり、指定した負荷テストのすべての .tsd ファイル) の両方をリサンプルできるようになりました。これによって、Performance Explorer のグラフやレポートの間隔や時間枠を変更できます。

グラフの標準偏差領域

Performance Explorer のグラフで、指定した測定値の標準偏差を、関連したグラフの周辺の色つきの領域として表示できるようになりました。

仮想ユーザー ベースのグラフ

通常の Performance Explorer のグラフは、測定値を Y 軸に、時間を X 軸に表示します。この種のグラフは、時間ベースのグラフと呼ばれ、時間の経過に対するパフォーマンスの変化を可視化する一般的な方式です。これに加え、グラフの X 軸に仮想ユーザーの数をプロットすることができるようになりました。こ

のグラフを、仮想ユーザーベースのグラフと呼びます。このグラフは、その時々測定されたすべての値の、同時に実行している仮想ユーザー数に対する平均を表示します。

ツリーの [全体] ノード

Performance Explorer 16.0 のツリーには、全体 という名前の新しい集約ノードが追加されました。この新しいノードは、エージェント、ユーザータイプ、地域などのほかの集約ノードと同じレベルに表示され、ツリーの測定値を片付けるのに役立ちます。

Performance Explorer ヘルプの再構成

Silk Performer ヘルプの Performance Explorer のセクションが全体的に再構成され、更新されました。ヘルプでは、従来の機能と、Silk Performer 16.0 で導入されたすべての新しい機能の両方が概説されます。さらに、新しいユーザーインターフェイスのデザイン、リボン、およびすべてのリボンのタブが説明されています。

監視機能の強化

SSH を介した Linux システムの監視

Performance Explorer を使用した Linux オペレーティングシステムを、セキュアシェル (SSH) 接続を介して vmstat を呼び出すことによって監視できるようになりました。

監視出力の自動有効化

Performance Explorer は、負荷テストの実行時に自動的にパフォーマンスデータを格納するようになりました。パフォーマンスデータの自動記録を有効にするには、**データソースウィザード**を開き、監視する測定値を選択して、**選択した測定値のデータを格納する** チェックボックスをオンにします。負荷テストの開始時に、**ワークロードの設定** ダイアログで **自動的に監視を開始する** がオンになっていることを確認してください。

Web プロトコル レベル プロジェクトのネットワーク エミュレーション

Silk Performer 16.0 を使用すると、さまざまなネットワークテクノロジー (有線、無線、モバイル) をシミュレートするネットワークパラメータを指定できるようになります。これらのパラメータには、帯域幅の制限、パケット損失率、待機時間が含まれ、プロファイルの設定でそれぞれの使いやすいユーザーインターフェイスを介して値を設定できます。

Silk Performer は、ネットワークエミュレーションに十分なプリセットを提供しており、この設定値をベースにしてユーザー独自の設定を行うことができます。もちろん、ユーザー独自の要求に従ってすべての設定を行い、特定のネットワーク設定を構成してシミュレートすることもできます。

Web プロトコル レベル機能の強化

64 ビット アプリケーションの記録

Silk Performer 16.0 を使用すると、64 ビットアプリケーションの記録も行えるようになりました。設定を変更する必要はありません。そのまま 64 ビットの記録が機能します。

HSTS Web サイトの記録

Silk Performer は、HTTP Strict Transport Security (HSTS) ポリシーの仕組みを使用する Web サイトの記録をサポートするようになりました。HSTS を使用すると、Web サーバーは HTTPS 接続の使用をクラ

クライアント (Web ブラウザ) に強制します。すると、クライアントは Web サーバーのドメイン名をそのサーバー証明書に対して検証することで、接続ハイジャック攻撃に対してアプリケーションを保護するのに役立ちます。

すべての Web ベースのプロジェクトの種類でのオフライン スクリプト生成

Silk Performer のオフライン スクリプト生成方式は、別々の 2 つのステップで行われます。最初のステップで、記録セッション中に生成されたすべてのトラフィックを Silk Performer Recorder がキャプチャします。次にステップで、キャプチャ データを使用して、スクリプトの設定と記録ルールに従ってスクリプトを生成します。このオフライン スクリプト生成方式は、すべての Web ベースのプロジェクトの種類で利用できるようになりました。

圧縮リクエストの自動検出

Silk Performer 16.0 は、記録中に圧縮されたコンテンツを持つリクエストの検出を完全にサポートしません。新たに導入された API 関数 `WebSetEncoding` を使用することで、再生時にこのようなリクエストを Web エンジンが自動的に圧縮します。

ファイル アップロードの記録時のスクリプトの簡素化

以前は、ファイル アップロードを記録すると、アップロードしたデータ ストリーム全体を含んだ長いスクリプトが生成されていました。ファイル アップロードをプロトコルレベルで自動的に検出することによって、Silk Performer Recorder はアップロードしたデータを含むデータ ファイルを生成し、スクリプトに参照を追加するようになりました。これによって、スクリプトは簡素化され、可読性が高まります。

WebCookieSet の standardhost 変数

プロファイル 設定で標準ホストを定義すると、Silk Performer は、スクリプト作成時に指定した標準ホスト (`www.example.com` など) を `standardhost` キーワードで置換されます。この標準ホストが `WebCookieSet` BDL 関数のデータ部分でも置換されるようになりました。

TrueLog Explorer のスマート レンダリング

TrueLog Explorer は、リクエストとレスポンスのコンテンツを、コンテンツ タイプに応じて適切に表示できるようにしました。もちろん、ソース、HTML、XML、JSON、バイナリなど、さまざまな表示形式を手動で切り替えることも可能です。

その他のテクノロジー ドメインでの改善

レポートでの Silk4J タイマと Silk4NET タイマ

Silk4J と Silk4NET の両方でカスタム タイマを作成する API が提供されます。Silk Test Classic テストと同様に、タイマ情報を Silk Performer レポートで利用できるようになりました。さらに、GUI レベルテストの実行中に Silk Performer Workbench の出力ウィンドウにステータス情報が表示されるようになりました。

SAP Netweaver の記録の改善

Silk Performer 16.0 では、SAP Netweaver プロジェクトの記録ルールが更新され、最新の SAP バージョンに対応しました。これらの改定されたルールを使用すると、スクリプトが完全にセッションはカスタマイズされ、そのまま実行できます。さらに、関連した TrueLog には可読なページ名が表示されるようになりました。

ダウンロード ファイルのサイズの検証

バージョン 16.0 では、Silk Performer に BDL 関数 BrowserDlgVerifyDownloadSize が追加されました。この新しい関数によって、ブラウザ駆動負荷テストでダウンロードしたファイルのサイズを簡単に検証できます。

ユーザビリティ機能の強化

Silk Performer 全体にわたって、以下のようにユーザビリティ機能が強化されています。

デプロイメント用データ ファイルの圧縮

Silk Performer は、データ ファイルをエージェントにデプロイする前に、自動的に圧縮できます。LAN/WAN エージェント用とクラウド エージェント用に別々にデータ圧縮を指定できます。データ圧縮を有効化するには、**システム設定** を開き、**ワークベンチ** をクリックして **コントロール** タブをクリックし、**LAN/WAN エージェントへのデータ ファイルを圧縮する** および **クラウド エージェントへのデータ ファイルを圧縮する** をチェックします。

検証関数のデフォルト深刻度パラメータ

Silk Performer 16.0 では、すべての BDL 検証関数の深刻度パラメータに、SEVERITY_SUCCESS レポートではなく、起こりうるデフォルト値が定義されています。

セクションを使用した TrueLog の構造化

記録中に Silk Performer Recorder の **TrueLog セクションの挿入** をクリックして、セクションを追加できるようになりました。この機能は、TrueLog ファイルの構造を改善するのに役立ちます。記録中に挿入したセクションは、TrueLog Explorer のツリーにノードとして表示されます。

すべてのユーザー タイプの同時有効化

ワークロードの設定 ダイアログで、すべてのユーザー タイプを同時に有効化および無効化できるようになりました。このユーザビリティの改善は些細なことですが、多くのユーザー タイプがあり、有効/無効を頻繁に切り替える必要がある場合には、とても有用です。**ワークロードの設定** ダイアログのユーザー タイプグリッドの左上に、新しいチェックボックスが追加されています。

Web テクノロジ：UI とドキュメントでの用語の統一

Silk Performer 16.0 では、次の Web テクノロジ用語が UI とドキュメントで標準化されました。用語「ブラウザ レベル関数」は「低レベル Web 関数」に、用語「ページ ベースのブラウザ レベル関数」は「ページ レベル Web 関数」に変更されました。

Silk Performer の既知の問題

ここでは、Silk Performer の既知の問題と該当する場合はその回避策について説明します。

Silk Performer に関する一般的な問題

マルチバイト文字セットのサポート制限

問題：

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは特定のアプリケーションの種類に制限されます。

解決策：

マルチバイト文字セット/UTF-8/EUC-JP のプロトコルおよびテストのサポートは以下のアプリケーションの種類に制限されます。

- Web アプリケーション テスト (プロトコル レベルおよびブラウザ駆動レベル)
- SAPGUI テスト
- Oracle Forms/Oracle Applications テスト
- Citrix テスト

Silk Performer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista 以降で動作させる方法

問題：

Silk Performer のコンテキスト ヘルプを Windows Vista 以降の Windows のバージョンで動作しない

解決策：

Silk Performer では、GUI コントロールを右クリックして、**ヘルプ** を選択すると、GUI 機能に関する情報が表示されます。このコンテキスト ヘルプは、Windows Vista 以降の Windows のバージョンでは動作しません。これは既知の問題で、Windows Help プログラム WinHlp32.exe が最近の Windows のバージョンに搭載されていないことと関連しています。この問題を解決するには、Microsoft Download Center から対応する .exe ファイルをダウンロードしてください。詳細については次の URL を参照してください：
<http://support.microsoft.com/kb/917607>。

TrueLog Explorer の問題

アクセス中のウイルス スキャナ ソフトウェアにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがある

問題：

アクセス中のウイルス スキャナにより TrueLog Explorer がクラッシュすることがあります。

解決策：

ウイルス スキャナ ソフトウェアは、TrueLog Explorer のクラッシュやパフォーマンスの劣化など、さまざまな問題が発生する可能性があります。負荷テストの間は、エージェント コンピュータおよびコントローラ コンピュータでウイルス スキャナ ソフトウェアを無効にすることを推奨します。

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に視覚的なスクリプトの変更に失敗する

問題：

関連トランザクションがインクルード ファイルにある場合に、視覚的なスクリプトの変更に失敗します。

解決策：

BDH ファイルにトランザクションを移動しないでください。

ビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能がブラウザ レベル スクリプトで機能しない

問題：

ビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能が、ブラウザ レベル スクリプトで機能しません。

解決策：

この動作は仕様です。HTML フォーム名は HTML フォームおよび BDL フォームと一致している必要があるため、TrueLog Explorer は、WebPageSubmit 呼び出し (ページベースのブラウザ レベル API) によって送信されたフォームのみを考慮します。TrueLog Explorer のビジュアル ユーザー データ カスタマイズ機能を使用してスクリプトをカスタマイズする場合、ページベースのブラウザ レベル API スクリプトを記録する必要があります。

SAPGUI の問題

コントロール位置情報を SAP から正しく取得できない

問題：

まれに、コントロール位置情報を SAP から正しく取得できないことがあります。このため、TrueLog Explorer では、選択したコントロール矩形をスクリーンショットの正確な位置に表示できない場合があります。

解決策：

スクリーンショットの代わりにコントロール ツリーを使用します。

Citrix に関する問題

Citrix 記録中に既存のセッションに接続すると、使用できないスクリプトが生成される

問題：

Citrix 記録中に既存のセッションに接続すると、使用できないスクリプトが生成されます。

解決策：

既存の Citrix セッションに接続すると、Citrix クライアントではすべてのウィンドウを認識しないので、同期関数はスクリプト化されません。必ず新しいセッションを記録してください。

Oracle Forms の問題

主要な Oracle Forms アプレット クラスをフックした後、そのクラスに依存しているその他の jar ファイルを JInitiator によってロードできない

問題

主要な Oracle Forms アプレット クラスをフックした後、そのクラスに依存しているその他の jar ファイルを JInitiator によってロードできません。

解決策

Oracle Forms または Oracle Applications を記録するときに、**JInitiator プロパティ** ダイアログで次の Java ランタイム オプションを定義します："-noverify -mx128m" NoVerify を指定することで、このロード問題を回避できます。また、JInitiator 1.1.7.x のデフォルトの **仮想メモリ サイズ** は、16 から 64 MB です。オプション -mx128m は、仮想メモリ サイズを 128 MB に増やします。記録によって追加のメモリ オーバーヘッドが発生するので、この追加メモリが必要になります。OutOfMemory エラーが発生した場合は、この値をさらに増やすことができます。

Oracle Forms の記録中にブラウザがクラッシュする

問題

Oracle Forms の記録中にブラウザがクラッシュします。

解決策

Oracle Forms 6i を記録するときは、Java ランタイム設定で Java JIT (Just-In-Time コンパイル) を無効にすることをお勧めします。この理由は、Java 仮想マシンの JIT ライブラリー (symcjit.dll) が原因でブラウザがクラッシュする可能性があるためです。

Java JIT は、次のいずれかのオプションを使用して無効にできます。

オプション 1 : Oracle **JInitiator プロパティ** ダイアログの Java ランタイム設定で - DJAVA.COMPILER=NONE を定義します。この操作は、JInitiator と一緒にインストールされる JInitiator コントロール パネルを使用して行う必要があります (Windows コントロール パネルでこのコントロール パネルにアクセスできます)。

1. JInitiator コントロール パネルを起動します。
2. DJAVA.COMPILER=NONE を **Java 実行時のパラメータ** テキスト フィールドに追加します。
3. **適用** をクリックします。

オプション 2 : [Oracle JInitiator プロパティ] ダイアログのチェック ボックスを使用して、Just In Time コンパイラを無効にします (バージョン 1.1.8.x 以降のみ対象)。

1. JInitiator コントロール パネルを起動します。
2. **詳細** タブを選択します。
3. **Enable Just In Time Compiler** チェック ボックスをオフにします。
4. **適用** をクリックします。

オプション 3 : 環境変数 JAVA_COMPILER=NONE を定義します。

1. **マイ コンピュータ** を右クリックして、**プロパティ** を選択します。
2. **詳細設定** を選択します。
3. **環境変数** を選択します。
4. **システム環境変数** で **新規** をクリックします。
5. **変数名** に JAVA_COMPILER を入力します。
6. **変数値** に NONE を入力します。
7. **OK** をクリックしてダイアログを終了します。

Web の問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録が動作しない

問題

ブラウザ ウィンドウが既にある場合にブラウザ トラフィックの記録は動作しません。

解決策

スクリプトを記録する前に、すべてのブラウザ ウィンドウを閉じます。

解決済みの問題

以下の問題が、Silk Performer16.0 で解決されました。

問題番号	説明	メモ
RPI 603195	クライアント証明書がシステムで利用できない場合、ページが読み込まれません (記録中/再生中のどちらの場合でも)。クライアント証明書がシステムで利用できない場合、記録中にダイアログが表示されます。OK またはキャンセルのどちらをクリックしたかによらず、記録は動作します。再生は、キャンセルがクリックされると失敗します。	
RPI 603249	API 呼び出しが選択されると TrueLog Explorer がクラッシュします。	
RPI 603926	ワークロードからエージェントを削除し、大文字で再度追加するとエラーが発生します。	
RPI 604982	TrueLog の表示時に TrueLog Explorer がクラッシュすることがあります。	
RPI 605062	データ書き込みを使用して WebUdpRecvFrom 関数で返された出力データを書き込むと、最初の終端文字の後に返されたすべてが正しくありません。	
RPI 605742	次のヘルプ トピックに誤りがあります： <i>WebFileUpload</i> 、 <i>WebPageFielUpload</i> 、 <i>WebPageSubmitFileUpload</i> 。	
RPI 606001	仮想ユーザー出力ウィンドウのエラー タブの内容をコピーすると、その内容がクリップボードに保存されません。	
RPI 606485	TrueLog Explorer の送信データ タブの文字が自動表示モードで表示されていると、テキストの選択とコピーができません。	
RPI 606511	プロファイル名や仮想ユーザー名に下線を使用すると、最近の TryScript が開けません。	
RPI 607460	Silk Performer のインストール時にクイック起動オプションを選択しても、最近のバージョンの Windows ではアクションが実行されません。たとえば、Windows 7 では Silk Performer はタスクバーにピン留めされません。	
RPI 1096529	onClick() ハンドラーなどでトリガーされた BDLT リクエストが href タグの JavaScript ステートメント (javascript void(0);) でキャンセルされます。	

問題番号	説明	メモ
RPI 607749	ワークロードの設定 ダイアログで、クリップボードのデータを行全体に貼り付けできません。	
RPI 608604	プロファイル設定で 5 文字のポート番号を入力できません。	
RPI 1078355	Citrix セッションの負荷テスト時に次のエラーが表示されます:「An error occurred while trying to access the requested resource」。	
RPI 1081723	ToUTF8 関数や ToEncoding 関数が記録されないため、スクリプトの再生期待通り機能しません。	
RPI 1087002	ファイルの保存 ダイアログをキャンセルすると perfBrowserApp プロセスがクラッシュします。	
RPI 1088551	Silk Performer Web エンジンを経した HTTP .NET リクエストのルーティングが機能しません。	
RPI 1090581	Citrix セッションの負荷テスト時にリソースエラーが発生します。	
RPI 1090989	UAC (ユーザー アカウント制御) の有効時に Citrix スクリプトの記録と再生が失敗します。	
RPI 1092468	.tsd ファイルがとて大きいと Performance Explorer で開くのに時間がかかります。	
RPI 1092757	standardhost 変数が WebCookieSet 呼び出しで置換されません。	
RPI 1093791	Silk Performer と Silk Test の両方を同じマシンにインストールし、Silk Performer をアンインストールすると、TrueLog Explorer もアンインストールされます。その結果、Silk Test で TrueLog Explorer が使用できなくなります。	
RPI 1094462	ヘルプ トピック「AJAX 同期から URL を除外する」のステップ 3 のタブ名に誤りがあります。正しいタブの名前は、同期 です。	
RPI 1094675	BDLT スクリプトの実行時に、Silk Performer がインターネット一時ファイルディレクトリに仮想ユーザーごとにフォルダを作成します。これらのフォルダがテストの実行後に削除されません。	
RPI 1094820	Silk Performer コントローラの測定値を Performance Explorer で監視しようとしても、コントローラへのデータは監視されません。かわりに、テスト中にリモート エージ	

問題番号	説明	メモ
RPI 1095016	<p>エントによって使用されたリソースが監視されます。</p> <p>ToEncoding を使用して XML ノードの属性値を TrueLog Explorer で構文解析した結果、WebXmlParseNodeAttribute 関数内のカッコの対応に誤りが生じます。</p>	
RPI 1095148	<p>スクリプトの実行中に次のエラーが発生します : 「LoadtestController:3317 - 仮想ユーザーのプロセスが終了しました」。</p>	
RPI 1095270	<p>大規模ファイルのアップロードの記録と再生で問題が発生します。Recorder とログの記録でメモリ不足になる場合があります。</p>	
RPI 1095289	<p>クライアント側測定値がリアルタイムデータの収集や表示を停止すると、負荷テスト中の仮想ユーザーが停止します。</p>	
RPI 1095371	<p>エラー ファイル (.err) をダブルクリックすると、Silk Performer SOA Workbench でファイルが開かれます。</p>	
RPI 1095419	<p>Windows でテキストのサイズを 中 - 125% に設定すると、System Configuration Manager のスケーリングが行われず、いくつかのタブが表示されません。</p>	
RPI 1095431	<p>負荷テストの完了時にエージェントの結果が圧縮されてコントローラに転送されます。 .zip ファイルが無効な場合、コントローラが結果フォルダ内の結果を解凍するときにエラーが発生します。</p>	
RPI 1095461	<p>テストの実行が行われると、リモートエージェントからの結果ファイルが圧縮され、コントローラに転送され、結果フォルダに解凍されます。 .zip ファイルが無効な場合、次のエラーが発生します : 「エージェント ファイルを解凍できません」。</p>	
RPI 1095475	<p>Silk Performer 15.5 の ワークロードの設定 ダイアログで、クリップボードの値をセルに貼り付けることができません。クリップボードから貼り付けできるようにするには、あらかじめセルを編集モードにする必要があります。以前のバージョンの Silk Performer ではクリップボードから貼り付けることができました。</p>	
RPI 1095477	<p>Silk Performer 15.0 で GUI レベルの負荷テストを 3 人以上の仮想ユーザーで実行すると、Silk Test Open Agent ライセンスが Silk Performer ライセンス以外にチェックアウトされます。</p>	

問題番号	説明	メモ
RPI 1095498	Silk Performer NTLM 認証が正しく機能しません。NTLM 認証が使用されると、Web リクエストがほぼ倍になります。	
RPI 1095501	プロファイル 設定の 追加 HTTP ヘッダーを記録する リストにヘッダーを追加すると、記録したスクリプトに指定したヘッダーが重複して含まれます。	
RPI 1095508	HTTP ダイジェスト認証が Silk Performer で機能しません。	
RPI 1095588	モバイル デバイス (Android) 上で記録したスクリプトの再生に失敗します。	
RPI 1095806	Performance Explorer 15.0 以降で m@... ファイルを開くと Performance Explorer がクラッシュします。	
RPI 1095821	負荷テストを中止または強制終了すると、テスト後にインターネット一時ファイルが削除されません。	
RPI 1095899	Silk Performer のインストール中にスタンドアロン ライセンスを追加すると期待通り動作しません。	
RPI 1095937	Silk Performer がさまざまなプロジェクトの種類を使用するとクラッシュします (プロトコル ベース、BDLT、ODBC を含む)。	
RPI 1095991	デコードした base64 文字列をエンコードすると元の文字列よりも短くなります。	
RPI 1096017	PerfBrowserHost プロセスが新しいバージョンの Silk Performer のエージェントでクラッシュします。	
RPI 1096086	Java RMI over HTTP の変換が状況によって機能しません。	
RPI 1096216	終日ワークロードの仮想ユーザー数を変更すると、エージェントに仮想ユーザーを手動で割り当てることができません。	
RPI 1096258	Silk Performer 15.0 または 15.5 でテストを実行すると次のメッセージが発生します:「Webengine 43:ホストからのレスポンスがありません - 接続が失われました」。	
RPI 1096347	Y の値がゼロで始まる対数グラフを表示できません。	
RPI 1096437	プロファイル名にハイフンが使えません。	
RPI 1096502	IIOP スクリプトを TM Art 4.2 で再生できません。次のエラーが発生します:「IiopVbServerBind(IIOP:72 - ブロードキャスト時に有効な応答を受信で	

問題番号	説明	メモ
	きませんでした (SmartAgent に問い合わせできません))」。	
RPI 1096528	BrowserDlgDownload 関数を使用してファイルのダウンロードを組み込んだスクリプトを含んだ負荷テストを、リモートエージェントを使って実行すると、テストは完了しますが、ダウンロードしたファイルがエージェントからコントローラに転送されません。	
RPI 1096836	エージェントの試行を実行すると、返されたカスタム イベントの処理するエラーが期待したエラーと異なります。	
RPI 1096876	Performance Explorer の評価期間が終了し、閉じられてしまいます。	
RPI 1097105	Silk Performer が特定の Web サイトを記録できません。	
RPI 1097131	複数のレポートを使用すると、テストが完了しても監視レポートを出力し続けます。	
RPI 1097177	ワークロードの調整 ダイアログを開いて 増加ワークロード を選択すると Silk Performer がクラッシュします。	
RPI 1097355	ワークロードの設定 ダイアログで問題が発生します。	
RPI 1097647	プロキシによる記録中のリダイレクトがトラフィック全体をリダイレクトしません。	
RPI 1097943	テンプレートから概要レポートを生成しようとする、Performance Explorer がクラッシュします。	

更新と SupportLine

当 Web サイトでは、最新の問い合わせ電話番号および住所の詳細を提供しています。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った 電子メールの件名および本文に記述されています。

Silk Performer のライセンス管理

このセクションでは、Silk Performer のライセンス ポリシー ファイルを取得し、Silk Meter をインストールする方法について説明します。Silk Meter は、すべて Silk 製品用のライセンス サーバーで、ライセンスをユーザー間で共有可能にします (フローティングまたは同時使用ライセンス)。Silk Meter をインストールするには、管理者権限が必要です。Silk 製品をノードロックで使用する場合は、ライセンス サーバーは必要ありません。



注: Silk Performer には、Silk Meter ライセンス ポリシーだけでなく、バージョン 2008 以降の Silk Performer も必要となります。

複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの Silk Meter ライセンス サーバーで、複数の製品のライセンス ポリシー ファイルを管理できます。

Silk Performer ライセンス ポリシー ファイルを受け取っている場合は、ライセンス ポリシー ファイルをライセンス サーバーにインストールします。ライセンス ポリシー ファイルを受け取っていない場合は、オンラインのライセンス生成プログラムを使ってライセンス ポリシー ファイルを生成します。

ライセンス情報

Silk Performer 16.0 には、新たに 16.0 のライセンスが必要です。バージョン 16.0 へのアップグレード処理中に以前のバージョンの Silk Performer を実行する場合、古いライセンスを 90 日間ご利用いただくことができます。

Silk Performer のライセンス モデルは、仮想ユーザー タイプ (VUser タイプ) に基づいています。利用可能な VUser タイプである、Web、標準、プレミアム には、次の Silk Performer のアプリケーションの種類があります。

VUser タイプ	アプリケーションの種類
Web	Web ブラウザ駆動 HTTP(S) (Web ブラウザ低レベル) HTTP(S)/HTML (Web ブラウザ高レベル) HTTP(S)/XML (Web サービス, SOAP) Silverlight モバイル SAP NetWeaver WebDAV (MS Outlook Web Access) 電子メール (SMTP/POP) FTP TCP/IP UDP AMF0/AMF3/FLEX DLL インターフェイス
標準	Web すべてとそれに加えて : .Net Add-On

VUser タイプ	アプリケーションの種類
プレミアム	Java Add-On DB2-CLI Add-On OCI Add-On ODBC Add-On Visual Basic Add-On (Framework) ディレクトリ サーバー (LDAP) CORBA Add-On 標準 すべてとそれに加えて : GUI レベル テスト (Silk Test 4Test スクリプト) Remedy Web ARS SAPGUI Add-On for Silk Performer Oracle Applications/Forms Add-On PeopleSoft Add-On Siebel Add-On Citrix Add-On ターミナル エミュレーション (緑画面) Add-On Tuxedo/ATMI Add-On


テスト済みソフトウェア

このセクションでは、Silk Performer がテストされたソフトウェアの一覧を示します。

一覧されたソフトウェアは、サポートされるテクノロジーとしては完全なものですが、製品とバージョンとしてはこれらがすべてではありません。

システム領域	テスト対象
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows Server 2003 32 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 32 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2003 R2 64 ビット サービス パック 2• Microsoft Windows Server 2008 32 ビット• Microsoft Windows Server 2008 64 ビット• Microsoft Windows Server 2008 R2• Microsoft Windows Server 2012• Microsoft Windows Server 2012 R2• Microsoft Windows Vista 32 ビット• Microsoft Windows Vista 64 ビット• Microsoft Windows 7 32 ビット• Microsoft Windows 7 64 ビット• Microsoft Windows 8 32 ビット• Microsoft Windows 8 64 ビット• Microsoft Windows 8.1 32 ビット• Microsoft Windows 8.1 64 ビット
Web ブラウザ	<p>プロトコルベースの負荷テストの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer• Mozilla Firefox• Google Chrome• Apple Safari <p>ブラウザ駆動型負荷テストの場合 :</p> <ul style="list-style-type: none">• Internet Explorer 7、8、9、10、11
ターミナル エミュレーション製品	<ul style="list-style-type: none">• AttachMate Extra 8• AttachMateWRQ 13.0• Distinct IntelliTerm 8.1• Ericom Powerterm Pro v8.8.1• HummingBird_Exceed 11.0 (ソケット プロキシを介してフック)• JProtector 4.5.2.0• MochaSoft 5.3 (ソケット プロキシを介してフック)• NetTerm 5.1.1• Nexus Terminal 5.3• PassportPC2Host 3• Quick3270 3.73• Rumba 7.4

システム領域	テスト対象
ERP/CRM ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> • Rumba 8 • Rumba 9 • SDI TN3270 Plus v2.4 • SecureCRT 1.0 • TeraTermPro 2.3 • TN5250_sourceforge 0.17.3 • TNBridge <p>SAPGUI クライアント :</p> <ul style="list-style-type: none"> • SAPGUI クライアント 720 • SAPGUI クライアント 730 • SAPGUI クライアント 740 <p>PeopleSoft システム : PeopleSoft 8.0、8.3、8.4、8.8、9.0</p> <p>Siebel システム :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Siebel 6.3 (MS SQL Server を使用) • Siebel 6.3 (IBM DB2 を使用) • Siebel 6.3 (Oracle を使用) • Siebel 7 • Siebel 8.0、8.1 <p>Clarify システム : Clarify eFrontOffice 8、10</p> <p>Remedy Web ARS : Remedy Web ARS 7.5、7.6、7.6.04 SP4 および SP5、8.0、8.1 SP1</p> <p>Oracle Forms :</p> <ul style="list-style-type: none"> • Oracle Forms 6i、9i、10g、11g • Oracle Applications 11i、12i
Citrix クライアント	<ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenApp Client 12.x • Citrix Web Interface 5.1、5.2、5.3、5.4 • Citrix Receiver (Microsoft Windows 3.x、4.x 用)
SOAP スタック	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft SOAP Toolkit 2.0 サービス パック 2 (SP2)、Internet Information Server 5 • Apache-SOAP バージョン 2.1、TOMCAT バージョン 3.1
Web サービス フレームワーク	<ul style="list-style-type: none"> • Axis 1.x • Axis2 1.4、1.5 • GlassFish Metro 1.5
データベース製品	<ul style="list-style-type: none"> • IBM Universal Database Systems 5.2、6.1、7.1 • Microsoft SQL Server 2005、2008 R2、2012 • Oracle Database 10g リリース 2

システム領域	テスト対象
CORBA 製品	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle Database 11g リリース 2 • Sybase SQL Anywhere Network Server 5.5.04 • Oracle WebLogic Enterprise • Micro Focus VisiBroker • Micro Focus Orbix • IBM WebSphere
Tuxedo	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle TUXEDO Server 6.3、6.4、7.0、7.1、8.0、9.0 • Oracle WebLogic Enterprise 4.2
Jolt	Oracle Jolt 1.1 (Oracle TUXEDO Server 6.4 を含む)、1.2
Java サポート	<ul style="list-style-type: none"> • Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 • IBM Java Development Kit • Eclipse 3.6、3.7、3.8、4.2、4.3
.NET ベースのテクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft .NET Framework 2.0、3.0、3.5、4.0、4.5 • Microsoft Visual Studio 2010 および 2012 • WCF Web サービス
リッチ インターネット アプリケーション (Web 2.0)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Silverlight 4、5 • Apache Flex 2、3、4 • GraniteDS 2.3.2 • BlazeDS 3.2.0 • Google Web Toolkit • ExtJS • Eclipse RAP • script.aculo.us
SNMP	<ul style="list-style-type: none"> • SNMPv2-MIB • RFC1213-MIB • RDBMS-MIB • ORADB-MIB • httpServer-MIB • ftpServer-MIB • SUN-MIB • BEA-WEBLOGIC-MIB • APPSRV_MIB (NetDynamics) • SQUID-MIB
ファイアウォール トンネリングのためのプロキシ サーバー	<ul style="list-style-type: none"> • WinGate • Squid • Dante • Microsoft ISA Server
	 注: Web 上で RFC およびベンダーの MIB を検索するには、 インターネット技術タスク フォース を参照してください。

サポートの終了

Windows 2003 と Windows 2003 R2 は、Silk Performer の将来のバージョンでサポートされなくなることに注意してください。